

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第50週の発生動向

トピックス

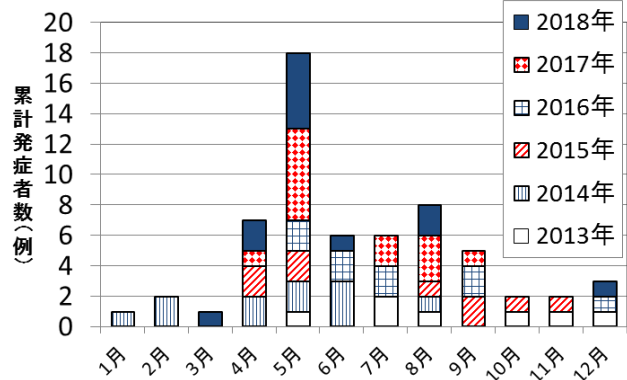
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

(全数報告の感染症) の報告が宮崎市保健所管内からあった。患者は80歳代女性で、発症は12月上旬である。ダニの刺し口は確認出来なかった。県内での報告は今年12例目で、累計61例(平成25年3月届出開始以降)となった。

インフルエンザ (定点把握対象の疾患)

第50週(12/10~12/16)の定点当たりの報告数は1.15と、流行期の目安となる1.0を上回った。昨シーズンと比較して6週間遅い流行期入りである。詳細後述。

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	2	14	21	15	5

全数報告の感染症 (50週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。
- 2類感染症：結核4例。
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例、つつが虫病9例。
- 5類感染症：ウイルス性肝炎1例、急性弛緩性麻痺1例、急性脳炎1例、侵襲性肺炎球菌感染症1例、水痘(入院例)1例、梅毒2例、百日咳16例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	男	無症状病原体保有者	—
			80歳代	男	肺結核	—
		小林	30歳代	男	肺結核	咳、痰、咯血
			日向	40歳代	女	肺結核
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	20歳代	男	無症状病原体保有者	O 91(VT1)
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	80歳代	女	—	発熱、神経症状、嘔吐、食欲不振、血小板減少、白血球減少
			70歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
		都城	10歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
			40歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹、全身倦怠感
		日南	60歳代	女	—	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
			70歳代	男	—	発熱、刺し口
			70歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹
		高鍋	70歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
			80歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹、全身倦怠感
			日向	90歳代	女	—

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
5類	ウイルス性肝炎	宮崎市	60歳代	女	C型	全身倦怠感、肝機能異常、黄疸
	急性弛緩性麻痺	宮崎市	10歳代	男	病原体不明	弛緩性麻痺、深部腱反射低下、筋肉痛
	急性脳炎	宮崎市	70歳代	男	ヘルペスウイルス	発熱、頭痛、嘔吐、項部硬直、意識障害、髄液細胞数増加
	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	60歳代	女	—	発熱、意識障害、項部硬直、髄膜炎、菌血症
	水痘(入院例)	都城	50歳代	男	検査診断例	発熱、発疹、肝炎
	梅毒	宮崎市	20歳代	女	早期顕症梅毒(Ⅱ期)	梅毒性バラ疹
延岡			20歳代	女	早期顕症梅毒(Ⅰ期)	梅毒性バラ疹

	疾患名	報告保健所	報告数	年齢群				症状
				0~4歳	5~9歳	10歳代	50歳代	
5類	百日咳	宮崎市	2例			1	1	持続する咳、夜間の咳き込み、ウーブ
		都城	4例	1	1	2		
		日南	3例		1	2		
		高鍋	6例		1	5		
		日向	1例		1			

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は794人(定点当たり24.9)で、前週比89%と減少した。なお、前週に比べ増加した疾患はインフルエンザと水痘で、減少した主な疾患は伝染性紅斑とヘルパンギーナである。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

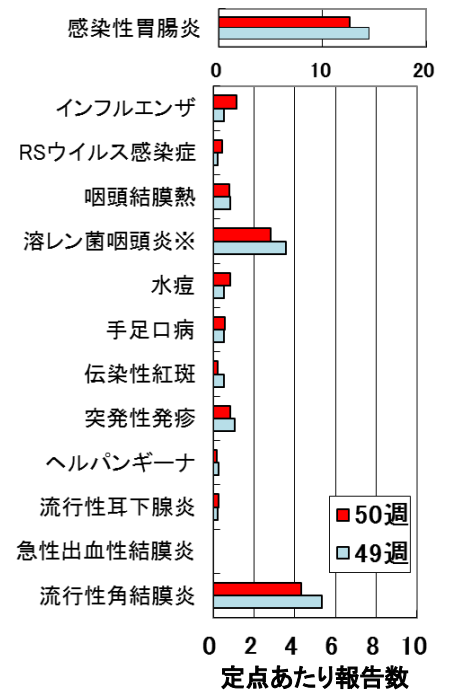
報告数は68人(1.2)で、前週比213%と増加したが、例年同時期の定点当たり平均値*(4.1)の約0.3倍である。中央(2.5)、宮崎市(2.1)保健所からの報告が多く、年齢群別では10歳未満が全体の約7割を占めている。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

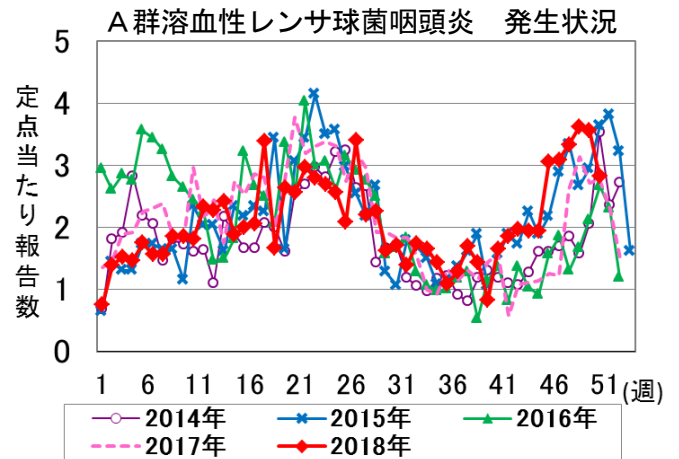
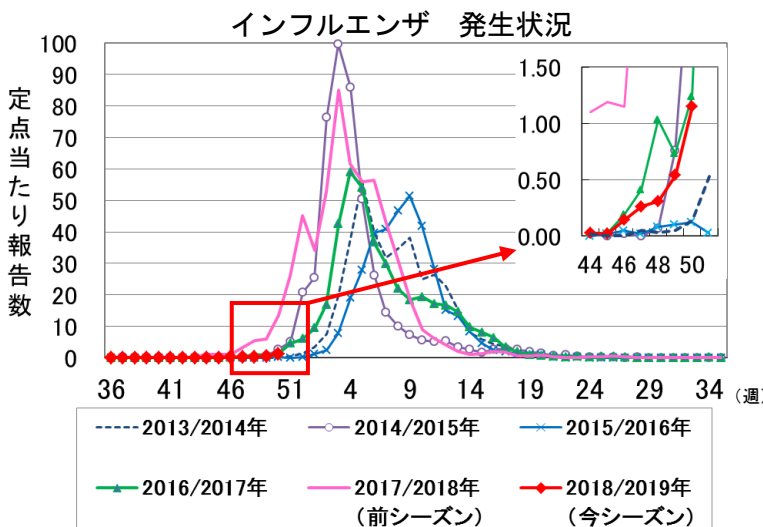
報告数は102人(2.8)で、前週比79%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(2.6)の約1.1倍である。日向(4.3)、延岡(4.0)保健所からの報告が多く、年齢群別では3~7歳が全体の約6割を占めている。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★

報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患	
宮崎市	なし	* 流行警報レベル開始基準値*
都城	水痘(2.2)	
延岡	なし	
日南	感染性胃腸炎(24.3),水痘(2.0)	
小林	感染性胃腸炎(25.0)	* 流行注意報レベル基準値*
高鍋	なし	
高千穂	なし	
日向	水痘(1.3)	
中央	なし	

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成30年12月17日までに検出）

★細菌

報告なし。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
ライノウイルス	0~4歳	男	2018.09.06	ウイルス性発疹(r/o川崎病)、40.0℃、上気道炎(咽頭炎)、発疹(紅斑)	咽頭ぬぐい液	2018.12.17
コクサッキーウイルスA16型	0~4歳	女	2018.10.22	手足口病、37.2℃、口内炎、下気道炎(気管支炎)、発疹	咽頭ぬぐい液	2018.12.14

○手足口病と診断された幼児からコクサッキーウイルス A16 型(CA16)が分離された。国内における手足口病の流行のピークは例年夏季であり、今年も7月下旬に流行のピークがみられた。全国で手足口病患者から分離・検出されたウイルスをみると、エンテロウイルス71型が主流であるが、流行のピークを過ぎたあたりからCA16の報告数も多くなっている。今後の動向にも注意が必要である。

🇯🇵 全国 2018 年第 49 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第49週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	343 例				
3類感染症	細菌性赤痢	21 例	腸管出血性大腸菌感染症	22 例		
4類感染症	E型肝炎	2 例	A型肝炎	6 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	つつが虫病	41 例	デング熱	3 例	日本紅斑熱	1 例
	レジオネラ症	21 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	14 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	32 例
	急性弛緩性麻痺	3 例	急性脳炎	8 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10 例	後天性免疫不全症候群	11 例	優襲性インフルエンザ菌感染症	9 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	69 例	水痘（入院例）	8 例	梅毒	79 例
	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	320 例
	風しん	121 例	麻しん	10 例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比112%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患は特にない。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は9,682人(3.1)で前週比111%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値*(2.7)の約1.2倍である。北海道(5.5)、新潟県(5.3)からの報告が多く、年齢群別では4~7歳が全体の約5割を占めている。

伝染性紅斑の報告数は3,026人(1.0)で前週比110%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値*(0.27)の3.6倍である。宮城県(5.5)、東京都(2.4)からの報告が多く、年齢群別では3~7歳が全体の約7割を占めている

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2018年 第50週(12月10日～12月16日)

疾病名		第49週	第50週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	32	68	34	6	1	7	3	11		1	5
	定点あたり	0.54	1.15	2.13	0.60	0.14	1.40	0.60	1.83	0.00	0.17	2.50
RSウイルス 感染症	報告数	7	16		6		6				3	1
	定点あたり	0.19	0.44	0.00	1.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.75	1.00
咽頭結膜熱	報告数	29	28	4	7	9	2		4		2	
	定点あたり	0.81	0.78	0.40	1.17	2.25	0.67	0.00	1.00	0.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	128	102	34	13	16	3	4	14		17	1
	定点あたり	3.56	2.83	3.40	2.17	4.00	1.00	1.33	3.50	0.00	4.25	1.00
感染性胃腸炎	報告数	522	453	65	82	52	73	75	34	8	48	16
	定点あたり	14.50	12.58	6.50	13.67	13.00	24.33	25.00	8.50	8.00	12.00	16.00
水痘	報告数	18	29	2	13	3	6				5	
	定点あたり	0.50	0.81	0.20	2.17	0.75	2.00	0.00	0.00	0.00	1.25	0.00
手足口病	報告数	19	21	7	2	6			4		1	1
	定点あたり	0.53	0.58	0.70	0.33	1.50	0.00	0.00	1.00	0.00	0.25	1.00
伝染性紅斑	報告数	18	7	4	1		2					
	定点あたり	0.50	0.19	0.40	0.17	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	38	29	10	3	1	2	4	4	2	3	
	定点あたり	1.06	0.81	1.00	0.50	0.25	0.67	1.33	1.00	2.00	0.75	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	9	6	1		5						
	定点あたり	0.25	0.17	0.10	0.00	1.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	8	9		1	1	5				2	
	定点あたり	0.22	0.25	0.00	0.17	0.25	1.67	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
急性出血性結膜 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	32	26	23		3						
	定点あたり	5.33	4.33	7.67	0.00	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2018年第1週～50週)

2類感染症	結核	157例(4)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	39例(1)				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	22例	重症熱性血小板減少症候群	12例(1)
	つつが虫病	55例(9)	デング熱	1例	日本紅斑熱	19例
	レジオネラ症	7例	レプトスピラ症	2例		
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	7例(1)	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	14例
	急性弛緩性麻痺	5例(1)	急性脳炎	7例(1)	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	後天性免疫不全症候群	7例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例
	侵襲性肺炎球菌感染症	23例(1)	水痘(入院例)	2例(1)	梅毒	9例(2)
	播種性クリプトコックス症	5例	破傷風	4例	百日咳	299例(16)
	風しん	3例				

()内は今週届出分、再掲